

## 成人看護方法Ⅱ 1単位（30時間）

科目目標：1. 急性期にある患者の特徴及び看護を理解する。

講 師：①穴沢和子 ②手術室看護師等

評価方法：筆記試験により評価する

テキスト：①系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論，医学書院

②系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[4] 臨床看護総論，医学書院

③系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論，医学書院

④系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論，医学書院

⑤よくわかる周術期看護，学研メディカル秀潤社

単 元	教 育 内 容	時間	授 業 形 態	備 考
急性期における看護	1. 急性期の特徴（テキスト② p71～） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急性期とは</li> <li>2) 急性疾患（テキスト①p183～）</li> <li>3) 慢性疾患からおこる疾病の急性期</li> <li>4) 急性期治療の特徴（テキスト②）</li> </ol>	2	講義	講師① 配点20% テキスト② テキスト①
急性期にある患者及び家族の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 急性期の患者のニーズ</li> <li>2. 急性期にある患者の看護援助</li> </ol>			テキスト②
急性期にある患者の看護の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 急性期にある患者への看護援助                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 迅速な観察と適切な判断・対応による生命の維持</li> <li>(2) 呼吸障害</li> <li>(3) 循環障害</li> <li>(4) 脳・神経障害</li> <li>(5) 代謝障害</li> <li>(6) せん妄</li> </ol> </li> <li>2. 心身の苦痛・不快の緩和による安楽の提供</li> <li>3. 危機的状況にある患者・家族への支援                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アギュララとメズイックのモデル(テキスト①)</li> <li>(2) フィンクのモデル</li> </ol> </li> <li>4. セルフケアへの支援・早期リハビリテーション</li> <li>5. 合併症の予防と回復促進のケア</li> <li>6. 家族への援助</li> </ol>	4		テキスト ①②

単 元	教 育 内 容	時間	授 業 形 態	備 考
外科看護の役割	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外科看護とは</li> <li>2. 外科看護の役割と課題</li> <li>3. 外科的治療の近年の傾向と看護の流れ</li> </ol>	4	講義	講師② 配点80% テキスト ②③④⑤
外科患者の病態	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外科患者のアセスメント</li> <li>2. 手術侵襲と生体反応               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 手術侵襲とは</li> <li>2) 侵襲に対する生体反応</li> <li>3) サイトカインによる生体調節機構</li> <li>4) 手術侵襲の評価</li> </ol> </li> </ol>			
周手術期看護の概論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術を受ける患者の状況</li> <li>2. チーム医療と看護師の役割</li> <li>3. インフォームドコンセント</li> <li>4. 周手術期における安全管理</li> </ol>			
手術前患者の看護の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外来診療の変化に対応した外来看護師の役割</li> <li>2. 外来における手術前の患者の看護</li> <li>3. 手術前の具体的援助               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の参画に向けた援助</li> <li>2) 手術前のオリエンテーション</li> <li>3) 心理面を整える</li> <li>4) 全身状態を整える</li> <li>5) 手術前日の準備</li> <li>6) 手術当日の看護</li> </ol> </li> </ol>	2		
手術中患者の看護の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術療法と患者の状況</li> <li>2. 手術室の安全管理               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者の確認</li> <li>2) 手術部位の確認</li> <li>3) 安全な移乗・移送</li> <li>4) 器械・器機、ガーゼの確実な計数・確認</li> <li>5) 標本の正しい取扱い</li> <li>6) 無菌操作</li> </ol> </li> <li>3. 手術室における看護の展開</li> <li>4. 手術室の環境管理</li> </ol>	2		

単 元	教 育 内 容	時間	授 業 形 態	備 考
手術後患者の看護の実際	1. 手術後の回復を促進するための看護 1) 手術後の看護目標 2) 患者のアセスメント 3) 環境を整える 4) 早期離床の促進・栄養の適切な管理 (ERAS) 5) 手術後の疼痛管理 2. 術後合併症の発生機序 3. 起こりやすい術後合併症の予防と発症時の対応 1) 術後出血 2) 循環器合併症 (不整脈・ショック・うっ血性心不全・虚血性心不全・高血圧) 3) 呼吸器合併症 (無気肺・肺炎・肺水腫・肺血栓塞栓症) 4) 精神・神経系の合併症 (術後せん妄・術後脳血管障害) 5) 消化器系の合併症 (麻痺性イレウス・癒着性腸閉塞・術後ストレス性潰瘍) 6) 代謝・内分泌系の合併症 (外科的糖尿病・甲状腺クリーゼ) 7) 腎・泌尿器の合併症 (排尿障害・急性腎不全) 8) 運動器系の合併症 (末梢神経障害・褥瘡) 9) 縫合不全 10) 術後感染症 (SSI・カテーテル感染) 4. 創傷治癒の看護 5. 自己管理に向けた援助	4	講義	テキスト ②③④⑤  ※特殊治療学の麻酔疼痛コントロールに関連づける
代表的な周手術期にある患者の看護	1. 開腹術をうける患者の看護 1) 開腹術を受ける患者の特徴と問題 2) 胃切除を受ける患者への援助方法 3) 人工肛門造設術を受ける患者への援助 2. 開胸術を受ける患者の看護 1) 開胸術を受ける患者の特徴と問題 2) 冠状動脈バイパス術を受ける患者の看護	8	講義	テキスト④ 事例を展開しながら教授する
救急時の看護	1. 救急医療における救急看護 2. 救急看護の特徴と実際	2	講義	テキスト
集中治療を受ける患者の看護	1. 集中治療・看護の概念と役割 1) 生命が危機状態にある患者の特徴	2	講義	テキスト ②③

護	2. 集中治療における看護の実際 3. ICUの管理・運営			テキスト ②③
---	----------------------------------	--	--	------------